

16

(土)

主に聖なる者

出エジプト記三九章1-31節

聖なる冠である花模様の額当てを純金で作り、その上に印章を彫るように、「主の聖なる者」と彫った。その額当てに青いより糸を付け、ターバンの正面に結びつけた。(30、31)

5/

ここでは祭司たちが身につける服や飾りが作られています。大祭司アロンには特別な冠が用意されました。その冠の前面には純金の板が取り付けられ、そこには「主の聖なる者」という文字が刻まれました。「聖なる者」とは、神に仕えるために特別に選ばれた者ということです。アロンはこの冠をかぶることにより、自分が何者であるか、誰に仕えているのかを常に自覚するのです。同じように、主イエスの贖いによって買い取られた私たちは、「主の聖なる者」です。私たちの命はもはや私たちのものではなく、血をもって買い取ってくださった主のものです。そのしるしとして、主は聖霊の証印を私たちに押ししてくださいました。私たちはどこにあって、この世から聖別され、主のものとされた者たちです。主の聖なる者として、いつも主に仕えて生きようではありませんか。